

2021年3月11日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様
 神奈川県議会議長 嶋村ただし 様
 神奈川県教育委員会教育長 桐谷 次郎 様

相模原の夜間中学を考える会 代表 吉田 恵一

神奈川・横浜の夜間中学を考える会 代表 安田 隆
 つるみえんぴつの会 代表 三階 泰子
 あつぎえんぴつの会 代表 岩井富喜子
 えびなえんぴつの会 代表 廣田久美子

相模原市立夜間中学の開校における県の教育施策の充実を求める要望書

神奈川県は「夜間学級アンケート（2018年2月）」の取り組みを行い、全県で160名、うち相模原市及び県央地区に合計114名の入学希望者が存在することがわかりました。神奈川県がこの取り組みをきっかけとして「中学校夜間学級等連絡協議会」を立ち上げ、参加自治体と共に協議し、県内3校目の夜間中学の開校に向けての取り組みを行っていることに心より敬意を表します。

義務教育機会確保法(2016年12月)の成立を受け、全国的な夜間中学の設立に向けた動きは2019年4月の埼玉県川口市、千葉県松戸市、さらに2020年6月の茨城県常総市に開校されています。徳島県、高知県においても2021年4月開校に向かって取り組まれていることは喜ばしい限りです。

県央地区においては、2019年2月の相模原市による「設置に向けて検討する」との表明を受けて、「中学校夜間学級等連絡協議会」において「広域を学区とする相模原市立中学校夜間学級の開校」に向けの学校構想、協力形態等が検討されていると聞いております。

横浜、川崎以外の地区においても夜間中学のニーズはあり、相模原在住の外国人市民が2019年4月に八王子市立第五中学校・夜間学級に入学し、現在2年生に在学しています。「県のアンケート」や各地の「外国につながる子どもたちのための学習支援教室」「自主夜間中学(えんぴつの会等)」の取り組みなどを踏まえれば、義務教育を十分に受けていない人々に対する教育機会の保障、および義務教育の理念という観点から県立夜間中学の開校も急がれるべき課題であると考えられます。公立夜間中学を卒業した人には高校、さらなる上級学校に進学し、資格を取り、自立につながる大切な基礎教育の場であり、保障される必要があります。それを踏まえて、以下の要望事項を検討していただきたく、お願い申し上げます。以下の要望は相模原市の令和2年(2020年)10月23日戦略会議事案「相模原市立中学校夜間学級の設置について」を踏まえて検討したものです。

要 望 事 項

- (1) 相模原市の開校に向けて全面的な支援をお願いします。
- (2) 相模原市立夜間中学の8月の入学者募集に向けて様々な支援を他の自治体に徹底してください。

- (3) 県下の自治体の住民に向けて、神奈川の夜間中学の実態について、相模原市の夜間中学の内容、生徒募集等の詳しい情報を早急に知らせてください。
 - (4) 生徒募集の入学の条件としては近隣の自治体だけではなく横浜市、川崎市そして東京都町田市からも入学できるように相模原市に働きかけてください。
 - (5) 夜間中学生の交通費の支援、就学援助を適用してください。
 - (6) 2019年度に行われた「夜間中学体験会」を今年も行ってください。
- 以上、よろしくお願いいたします。

